

ガス溶接技能講習受講報告

共通機器部門 情報基盤機器管理班 鳴田 好広

1. はじめに（目的等）

業務で行っている金属の溶接・溶断では、アーク・プラズマを用いて行っているが、可燃性ガス・酸素を混合、それらガスの燃焼の熱を利用した方法での溶断・溶接について技能を取得できていない。

ガス溶接技能講習の受講により、可能性ガス・酸素を混合した溶断・溶接の知識・技能取得を目的に参加した。

2. 期間・場所

期間：令和3年8月16日～8月17日

場所：ロイヤルパワーアップスクール 福山校 広島県福山市松永町4丁目15-83（松永駅前）

3. 参加者等

8月16日 受講者 15名

8月17日 受講者 16名

4. 研修内容

8月16日 研修内容

学科講習 7h

ガス溶接等の設備・構造及び取扱いの方法に関する知識と可燃性ガス及び酸素に関する学科講習

8月17日 研修内容

学科講習 1h：関係法令の学科講習

学科試験 1h：ガス溶接等で関係する設備・構造・可燃性ガス及び酸素・関係法令の学科試験

実技講習 5h：ガス溶接で用いる設備・機器の取扱いとガス溶接（溶断・溶接）作業の技能講習

5. まとめと感想

学科講習のガス溶接の知識習得では、ガス溶接で用いる可燃性ガス・支燃性ガスの特性・危険性と溶接作業で用いる設備・機器について理解し学科試験を合格することが出来た。

実技講習では、ガス溶接で用いるガスボンベと機器を実際に接続し接続手順・方法について理解できた。また、実際にアセチレンガスと酸素を混合燃焼させ適切な燃焼条件を出す方法や10mm程度の金属母材を切断しプラズマを用いた切断の違いについて学べた。また、1.5mm程度の板材の溶接を行いTIG溶接との違い・難易度について理解することができた。

今後の業務では、技能講習で学んだ知識・技能を用いて可燃性ガスを用いた溶接作業を行うと共に技能の向上に努めて業務を務めていく。